第７期第１回北区男女共同参画審議会

日　　時：平成３０年１１月１４日（水）午後６時３０分～午後７時３０分
場　　所：スペースゆう　多目的室 AB

１　開　　会

２　議　　題
（１）第６次アゼリアプランの策定について（諮問）
（２）専門部会の設置について
（３）平成 30 年度北区男女共同参画に関する意識・意向調査報告について

３　閉　　会

出　席　者	奥津会長	植木委員	浅賀委員	鈴木委員	岡﨑委員
	小林委員	矢吹委員	熊澤委員	田渕委員	元井委員
	近藤委員	古田委員	岩本委員	中澤委員	田草川委員
	都築委員				
欠　席　者	平野副会長	山田委員	小路委員	関委員	

審議
〇藤野課長
　続きまして、条例施行規則では、審議会に会長、副会長を置き、会長は委員の互選による、それから副会長は会長が指名すると規定されております。
　まず、会長についてでございますけれども、いかがでしょうか。ご推薦等ありましたら、お願いいたします。

〇矢吹委員
　奥津眞里さんをご推薦したいと思います。奥津委員は、前期第６期も会長をお願いしておりますので、また今期もぜひお願いしたいと思います。

〇藤野課長
　ただいま、第６期審議会の会長でありまして、平成20年よりこの審議会の委員をお務めいただいております、キャリアコンサルティング技能士の奥津委員を会長にとのご意見がございましたが、いかがでしょうか。
（「異議なし」の声あり）

○藤野課長
　ありがとうございます。
　それでは、第７期審議会の会長につきましては、奥津委員にお願いしたいと存じます。
　奥津会長、会長席のほうによろしくお願いいたします。

（奥津会長、会長席に移動）

○藤野課長
　続きまして、副会長の指名をお願いいたします。

○奥津会長
　まず、会長の挨拶をする前に、審議会の体制を整えるということで、副会長の指名をさせていただきます。
　前の第６期の審議会のときも東京家政大学短期大学部の平野先生に副会長をお願いしておりましたので、引き続きその２人のコンビでやらせていただきたいと思います。したがって、副会長、平野先生ということで指名させていただきます。

○藤野課長
　ただいま平野委員を副会長にというご指名がございましたが、皆様いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○藤野課長
　ありがとうございます。
　それでは、これより先の議事につきましては、奥津会長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

○奥津会長
　では、改めまして、ご挨拶させていただきます。奥津でございます。
　私は、キャリアコンサルティング技能士と書いてございますけれども、いい年をして少しは社会貢献をしたいということで、この肩書、これは国の技能検定試験の結果でございますので、それを使って若い方々とか、あるいは、定年後の新たな道を開く方へのご相談などをしたいなということで、これを使っておりますが、もとはといえば国の研究機関の研究員でございます。大学の講師とか、民間団体の相談業務とか、それから職業選択等に悩む方々の職業心理学の観点からの研究をしてまいりました。そこで、ワーク・ライフ・バランスですとか、女性の再就職とか、そんなことの研究をしてきたものですから、皆様とのご縁もここであると考えております。今後、よろしくお願いいたします。
　ではまず、先ほど本来審議会は公開であると。ただし、審議会の決定で一部非公開にできるということが条例の施行規則に書いてあるということでございました。しかし、初めての審議会でございますし、ぜひこれは公開をと思っておりますけれども、いかがでござ

いましょうか。公開してよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○奥津会長

　では、よろしくお願いします。このまま公開ということでお入りいただいてください。

（傍聴者入室）

○奥津会長

　では、皆様のご協力をいただきながら審議を進めてまいりたいと存じます。

　議事録の作成上、ご発言なさるときはぜひマイクをお使いいただいて、そして、まずお名前をお名乗りいただいてからご発言ということでお願いいたします。

　では、まず、本来ここの審議会の最重要テーマが第６次アゼリアプランの策定についてということだと思いますが、諮問があったのではないでしょうか、事務局よりご説明をいただきたいと思います。

○藤野課長　「第６次アゼリアプランの策定」について説明

○奥津会長

　ありがとうございました。

　今ご説明が始まりましたときに、区長様からの諮問の正式文書がここに届きましたので、ここに、第６次アゼリアプランの策定に当たっての基本的な考え方について諮問するということになっております。これからよろしくお願いします。

　今ご説明ありましたけれども、早速、質問というようなことで確認されたいことございますか。特になければ、どんどん進めて、また戻って質問が出たときにということでお願いします。

　今、説明の中で専門部会という言葉が出てまいりました。そもそもこれは何であるかということもあると思いますので、そのことについて議題を進めさせていただきます。

　事務局から、専門部会の設置について、ご説明ください。

○藤野課長　「専門部会の設置、運営、スケジュール」について説明

○奥津会長

　ありがとうございました。

　今のご説明ではちょっとわからないところがあれば、ご質問をお願いします。

　専門部会というのは、前の５次のプランをつくりますときもありまして、私もそれに参画させていただきましたが、要はこんな厚いものをつくるわけですので、全員いつもお集まりいただくというわけにいかないということで、テーマを絞って少ない人数で検討するというものでございまして、その割り振りがこんなふうに決まっていたということなんですが、実際小さな人数になりますと、本当にちょっとした本音といいますか、結構深い議論があったりいたしまして、なかなか勉強になる会議でございました。

ということで、今の説明でございますと、会長が専門部会の委員を指名するとはなっておりますけれども、立候補いただくような、ぜひ私というふうに言っていただく方がいらっしゃったらお願いをしたいと思うのですが、この部会に参加したいというようなご希望ないでしょうか。１つ目が人権というような形ですね。２つ目が働くことと家庭という、ワーク・ライフ・バランス、家庭、地域ですね。３つ目があらゆる場面での男女共同参画ということになりますが、特に手を挙げてということがあったらぜひお願いしたいと思いますけど。

○田渕委員
第２専門部会をやりたいです。

○奥津会長
はい。では、事務局にお願いします。
ということで、ほかの方々いかがでございますか。
では、指名をするわけですが、事務局のほうで皆様のご活躍とかご業績とか、いろいろ事務局のほうも皆様のご功績とか履歴とかそれなりに把握しているものですから、それを参考に打ち合わせていただいて、こういう形でお願いしたいと思っております。
まず第１部門、これは人権とか暴力とかそういう問題でございますので、配偶者暴力等の防止に関する事項ということでございますので、まず、弁護士の植木委員にお願いしたいと思います。それから、民生・児童委員協議会のほうからいらっしゃっています浅賀委員、ぜひお願いしたいと思います。それから、やはりこういう問題、人権擁護委員の会の小林先生、お願いします。それから、新生活運動推進協議会の関委員は、今いらっしゃいませんけど、お願いしたいと思っています。それから、公募委員の元井委員、ぜひお願いします。それから、区のほうから、区議会の企画総務委員会委員長ということでいらっしゃいます近藤委員、お願いいたしたいと思います。それから、総務部長、今はまだいらっしゃいませんけれども、前もそうでしたね、中澤委員にお願いしたいと思っております。
これが第１部会。
それから、第２部会につきましては、今、立候補していただきましたので、ぜひ田渕委員にお願いしたいと思います。それから、きょうもこれまたご欠席なんですが、ずっと長く、私も10年もやっていたんだなと先ほど思いましたけれども、やはり同じように長くやっていらっしゃいました、中央大学の山田委員にお願いしたいと思っております。それから、王子法人会女性部会の岡﨑委員、お願いしたいと思います。それから、公募委員の田渕委員が入られましたね。それから、労働相談情報センター、東京の池袋の所長さん、ぜひ岩本委員、お願いしたいと思います。それから、子ども未来部の、この担当でいらっしゃいます都築委員、よろしくお願いします。
それから、第３部会については、教育とか地域など日常生活における幅広い分野の視野から、この男女共同参画を論じるということでございますので、副会長の平野委員を、まずお願いしたいと思っています。日ごろからそういうことについて研究もしていらっしゃるということですので、お願いしたいと思います。それから、町会自治会連合会の鈴木先生、よろしくお願いします。それから、区立幼稚園・こども園・ＰＴＡ連合会の小路先生、

よろしくお願いします。それから、北区男女共同参画推進ネットワークの矢吹委員、よろしくお願いします。熊澤委員も、ぜひここでよろしくお願いしたいと思っております。それから、文教子ども委員会委員長の古田委員ですね。よろしくお願いします。またご指導のほどお願いいたします。それから、教育振興部長の田草川委員、よろしくお願いします。

というような形で、それぞれ７名ぐらいになりますかね、ということで構成をまずさせていただきたいと思います。

次に、リーダーということになっておりますので、リーダーを選んでいただくわけですが、さっき説明にありましたように、区のほうの規定で会長・副会長はリーダーにはなれませんということになっておりますので、その他の先生方ということで。これは案ということなんですが、第１専門部会は、植木委員いかがですか、よろしくお願いしたいんですが、いいですか。

第２専門部会は、やはり長いことやっていらっしゃいましたので、中央大学の山田委員にお願いしたいと思っています。

それから、第３専門部会は、こちらにとてもご縁も深いので、矢吹委員、よろしくリーダーのほうをお願いしたいと思います。

ということで進めさせていただいて、専門部会をつくらせていただくと。本当に心の底を打ち明けたような議論がきっと、なされると思いますので、よろしくお願いいたします。

ここまでで、何かご発言ございますか。

○藤野課長

会長、失礼いたします。恐らく奥津会長の配属がご説明なかったかなと。

○奥津会長

ワーク・ライフ・バランス、ずっとやってきておりますので、第２部会に入れてください。お願いします。

では、続いて議題の３番目です。これは前から委員をされている方はぜひ聞きたいと思っていらっしゃったことだと思います。平成30年度北区男女共同参画に関する意識・意向調査の結果報告ですね。これについて、まずご説明をお願いします。

○藤野課長　「男女共同参画に関する意識・意向調査結果」について説明

○奥津会長

ありがとうございました。

報告書ができれば、また皆様に全部、お手元にお届けするということでございますね。

回収率の話もあるとは思いますけれども、このような概況のことでございますが、ご質問ございますか。あるいは確認されたいことあれば、ご発言お願いします。

○田渕委員

調査結果の（１）番の一般男女、「男は仕事、女は家庭という考え方には共感する」というところなんですけれども、これ18歳以上の男女ということなんですけれども、何かも

うちょっと細かい年代別というのがないと、評価というところがしにくいのかなというふうに感じました。そこは出せるものなんでしょうか。

〇藤野課長
　ただいま本編のほうの作表には取り組んでいるところでございますけれども、男性、女性ごとに、できましたら年代ごと、年代になりますけど、20代、30代というような年代ごとの数値をお示ししたいと考えております。

〇田渕委員
　ありがとうございます。

〇奥津会長
　ほかにございますか。

〇近藤委員
　４つ目の中学校２年生のお子さんが、結婚したい、子どもができたということを、今の時代の子どもさんはこの段階でもう考えるんですかね。なかなか難しい設問だなと、今そういう時代なのかなと思いながら、ちょっとあえて質問しました。

〇奥津会長
　これは、学校でこういう話もするということにはなっていますね、キャリア教育などでね。そのあたり踏まえて、いかがでございますか。

〇田草川委員
　前回もこれ質問肢がありましたね。それで比較の意味もあってこれ入れているんだと思いますけれども、もちろん各生徒、質問があればそれなりのその時点での気持ちで答えているかとは思います。
　実際の話で、今現在、教育の観点としては、キャリア教育や何かで、将来的な自分の役割ですとか、また、何をしたいかとか、そういったことをよく踏まえて勉強とかいろいろ生活も進めていくんだよというようなことは、いろいろな機会に申し上げていますので、それなりの判断は一定程度するのかなというふうには思います。ただ、この先、随分気持ちは変わってしまうのかもわかりませんけれども、現時点でのという形でお捉えいただければと思います。

〇近藤委員
　はい、わかりました。

〇奥津会長
　先にあちらから手が挙がりましたので、どうぞ。

○鈴木委員
　区立中学校の２年生の方に聞いているということは、ある程度学校生活が落ちついて、受験等もないというちょっと落ちついた状態なので、この年齢にお聞きしたということで理解してよろしいんですか。

○藤野課長
　お見込みのとおりでございまして、５年前につきましても同じ対象を調査しておりますということと、あとは、１年生というと、実施の時期が６月、７月という時期になると、１年生で６月、７月というとまだ不安定というか、学校生活にもなれていない。それから、中学校３年生につきましては、受験勉強が始まるというところのご負担を考え、３回目になろうかと思いますけれども、中学校２年生にお願いしているところでございます。

○鈴木委員
　ありがとうございます。

○奥津会長
　こちらで手が挙がっていました、田渕委員どうぞ。

○田渕委員
　田渕です。同じく（４）の区立中学校２年生男女の質問のところで、「女性」と「仕事」との関係について、「子どもができたら仕事をやめ、子どもが大きくなったらまた仕事をする」というところですが、中学生なので、仕事をやめてまた復帰することが簡単、ハードルが低いというふうにこの質問だと見えてしまうのかなというふうに思っています。でも、実際仕事をやめてしまうと、社会からは10年ぐらいキャリアロスになってしまうので、時間単価とかその方の評価というのは明らかに下がってしまうと思うんですね。そういうことを前提に伝えた状態でこの質問をすると、また内容が変わるのかなと思っていまして、この内容だと、一回仕事やめても戻れるんだという印象を持たせてしまうのかなと思いました。

○奥津会長
　何かございますか。

○藤野課長
　ご意見ありがとうございます。

○奥津会長
　中学校２年生に社会の動きをどういうふうに理解してもらうか、どこまで理解していただくかというのは、なかなか難しい問題ではありますし、同じような意味では、仕事と家庭、結婚して子どもができても働き続けるということの大変さがどれだけわかって答えていますかという話にもつながってきますので、その辺は、今はちょっとあっさり聞いて、

その動きがこういうふうに変わってきましたというところまでの調査だと思っております。また、そういう意味での啓発とか教育がどこまで必要かとか、どうするかというのは、まさにこういう審議会の今後の課題になろうかと思いますので、とりあえずご意見を承ったということでお願いします。

○古田委員
（２）の企業経営者へのアンケートについてです。200配布して、回収は少なかったわけですけれども、どのように区内企業を選んだのかそういったことを教えてください。

○奥津会長
じゃ、選定方法を教えてください。

○藤野課長
概要についての資料５の１ページを開いていただければと思いますけれども、企業経営者、調査の対象につきましては、区内に事業所がありまして、従業員数が10人以上の経営者を対象にいたしましたが、こちらにつきましては、王子法人会様のご協力をいただきまして、企業を抽出したところでございます。200社抽出させていただきました。

○古田委員
ありがとうございます。

○奥津会長
まだ本報告が出ていませんので、実際はもっと多分いろんなことが質問としてありますが、とりあえずきょうはこういう形で、この調査が今度出ますと、楽しみということで質問を締めさせていただきます。
時間もございますので、その他の議題のほうに進めさせていただきます。一応、議事にその他とございますので、事務局のほうからご説明ください。

○藤野課長　「専門部会の日程調整」について説明

○藤野課長
最後に、本日、席上に配付させていただきましたピンク色のチラシ、こちらだけご紹介させていただければと思います。
毎年11月12日から25日までの２週間、内閣府などが所掌しております女性に対する暴力をなくす週間、この２週間がなくす週間となっております。このピンク色の講座は、毎年この週間に合わせて実施しておりますＤＶの基礎講座でございまして、お示しのとおり11月24日の午後２時からこの会場にて開催いたしますけれども、ぜひ多くの方にご参加いただきたいと思いまして、お知り合いの方にもご案内いただければ幸いでございます。
なお、この女性に対する暴力をなくす週間、これを広く周知するために、コミュニティバス、区内を走っておりますけれども、こちらのラッピングとか、本日この北とぴあの１

階にも展示しておりますパネル展示、それから中央図書館にて特設コーナーなどの設置も行っておりますので、ぜひ機会がございましたらごらんいただけると幸いです。
　以上でございます。

○奥津会長
　ありがとうございました。
　日程等その他、何か確認されたいことございますか。そうですか。
　きょうは皆様にご協力いただいて、どんどん進みましたので、かなり時間を節約して進ませていただきました。でも、今後の審議会については、いろいろご意見が出るかと思いますので、また十分にご発言をいただきたいと思っております。専門部会などもございますので、ぜひまたそういうところで、本当は何が大事なのかというようなことをご確認いただければと思っております。
　これをもちまして、一応この審議会は閉めさせていただきます。
　私もきょう初めてここに座らせていただきましたので、こんなことを考えておりますと、一応会長ということになりましたので、本当にこの世の中の動きをきちっと理解して、次のアゼリアプランをぜひつくり上げていただきたいなと思っております。例えば、今、少子高齢化と言えば何でも、人口減少社会と言えば何でも、そうだそうだと思うわけですけれども、例えば昭和39年の東京オリンピックのときに日本の人口は１億いなかったんです。9,000万人台でした、八千幾らかですね。１億超えたのはそれよりも15年から20年たってからです。要は団塊の世代が子どもを産み始めてからなんですね。ピークで日本が１億の人口を超えたというのは、そのときからのちょっとした年数だけなんですよね。
　それが減ってくる、大変だ大変だ、人口減少だと言っているということは、それはそれなりにいろんな意味があると思いますけれども、そういう動きの中で今ここにあって、この問題をどう考えるかというようなところまで少し意識しながら、男女共同参画という言葉も、そういう言葉でいってしまえば全ていいんだというようなことではなくて、それはどういう意味なのかと。この時代のこの環境になったということを、よく私なりにも勉強させていただきながら、さらにまたいろんな知識も得ながら、何とか北区のこのプランをどこから見ていただいても、あ、なるほどよく考えられているというような形でつくり上げていただきたいなと思っておりますので、拙い運営ではございますけれども、それぞれ皆様のご意見をいただいて進めさせていただきたいと思います。今後よろしくお願いいたします。
　本日はどうもありがとうございました。お疲れさまでした。